

平成24年
第4回市議会（定例会）

会期12月4日～14日

会期中に、決算案8件（認定）、
条例・規則案13件（原案可決）、補
正予算案5件（原案可決）、その他
3件、陳情5件（継続審査2件・採
択2件・不採択1件）の議案審議等
をしました。

総務文教委員会に
付託された議案

●大竹市事務分掌条例の制定につ
いて

「わがまちプラン」前期基本計画に
おける重点取組施策を推進する体
制を整えるため、組織の変更を
おこなう。

特に、「市民自治」「健康・予防」
を推進するための組織を構築する
ため、現在の3部制から、総務部・
市民生活部・健康福祉部・建設部
の4部制とする。

Q 市民サービスの維持・向上の発
展には、組織を機能的・効率的に動
かし社会・経済・自然環境などの著
しい変化に対応できる高度な専門知
識を持った人材育成が大事と思う
が、考えを問う。

A 組織は行政サービス、行政事務
を行う手段にすぎず、職員が職務を
行いやすくなるのが大事である。組
織をつくるのが目的ではなく、第五
次総合計画の実現を目的とした組織
変更と考えている。

●平成24年度大竹市一般会計補正
予算（第4号）

Q 生活保護費の中で医療扶助費が
当初予算から23パーセント強という
突出した増加を見せている。この要
因について問う。

A 受診件数の総数は、昨年度との
比較で4%程度の増加の見込みだが、
今年度はガン、心臓病、脳梗塞などの
大きな病気にかかる被保護者が多く
なったため、医療扶助費が高額にな
った。また本市の生活保護世帯の40
パーセント以上が高齢者世帯であり、
こうした高齢者が病気で入院する
ことが増える状況にある。

●大竹市給食センター設置条例の
制定について

Q 大竹市学校給食審議会と大竹市
給食センター運営委員会の関係につ
いて問う。

A 現在審議会を設置し、市で統一
した給食運営を図っている。平成25
年4月から給食センターで一括調理
を行うため、審議会の機能を新たに
設置する「給食センター運営委員
会」に移すものである。運営委員
会は、審議会の持つ役割に加え、給食
の単価決定、納入業者の決定、衛生
管理など、学校給食に関する事項に
ついて協議する機関となる。



その他付託された議案

●大竹市の事務所の位置を変更する
条例等の一部改正について
●一般職の職員の給与の特例に関す
る条例の一部改正について

※採決の結果、原案のとおり可決



●大竹市給食センター設置条例の
制定について

【反対討論】

「給食センター問題では、教育委員
会は、審議会に諮問した当時から自
校方式について教育的に論議してい
ない。財政面だけで決めている。」

【賛成討論】

「市民の長年の希望であった中学校
の完全給食の実現で、子育て支援な
どに大きく寄与されるものと思われ
る。」

本会議での採決の結果
原案のとおり可決

生活環境委員会に
付託された議案

●大竹市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

近隣市町が粗大ごみやごみ袋に処理手数料を導入している現状から、大竹市においても、もやすごみ及び粗大ごみに関して、ごみの減量を進めることを目的として、ごみ処理手数料を導入するための条例の一部改正

●大竹市一般廃棄物の処理手数料に係る証紙に関する条例の制定について（一括審査）

●本市のごみ分別やリサイクル率は県内でもトップクラスと伺っているが、今回の有料化は「ごみ減量が目的」とあるが減量の目標を問う。

●A 本市のリサイクル率は高く資源回収が県内トップである。ごみ減量は2割を目標としている。

●Q 住民説明会を18力所で予定しているが、住民説明を先行し理解を得

てから議会に諮るべきと考えるかがかか。

●A 2度のアンケートや市広報、地区懇談会などで意見を聴いている。議会ですべての市民に説明を考えている。

●Q 有料化で1〜2年はごみの量が減るが、その後また増える傾向にある。ごみの減量は住民と行政が、循環型社会の形成を目指し積極的に取り組むべきと考えるが問う。

●A 有料化を導入した後の施策が重要と考えている。他市においても有料化を導入し減量を維持しているところもある。アンケートでも有料化については「やむを得ない」との意見が50%を超えていることで判断し議会に提案している。



その他付託された議案

●大竹市暴力団排除条例の一部改正について 他8議案

委員会ですべての市民に説明を考えている。

※採決の結果、原案のとおり可決



【反対討論】

○「藤沢市等への視察研修が生かされていない。議決がなければ市民説明が出来ないなど冗談のような答弁。継続審査が出来ないなら反対。」

○「ごみの有料化に反対する訳ではない。市民への説明が不十分のまま有料化を強行することに反対。市民に面と向かって説明を。」

○「廃棄物減量等審議会の答申が求めている施設の効率的な運転、管理経費削減の為に行政の工夫と努力をせずに、市民への負担のみ強いるものであり、反対。」

○「大竹市のごみ処理経費は高いから減量化した場合の効果も大きい。『これだけ減量化したら上げなくても済むんだけど協力を』と言えないのか。説明の前の値上げに反対。」

○「福山発電所の処理料が来年度上がることも知らずに議論している。大竹市も発電所の株主なのに株主総会の議事録も出さない。的確に実態を踏まえた議論が出来ていない。反対。」

【賛成討論】

○「ごみを分別し、燃やすごみの減量化を実践していただけない方に多少多くの負担をお願いすることは公平化の観点からも必要であり、賛成。」

○「ごみの分別が不十分。何でもかんでも袋に詰めて出せば終わりという方では、それなりの負担をしてもらうべきで、公平の観点からも賛成。」

○「政策立案における合意形成については市長と意見が異なるが、有料化は減量への動機付けという点でかけ声だけは違う。今後の市民説明の考え方を評価して賛成する。」

○「ごみの減量と負担の公平化を図る為に廃棄物減量等審議会の答申を踏まえて行うものである。ごみが少ない綺麗なまちは、だれもが住みたいと思うまちでもあり、賛成。」

本会議での採決の結果
原案のとおり可決